

2012年7月21日(土)～22日(日)

テーマ:かんきょう キャンパス・レポート2012

写真で報告...ちくご子どもキャンパス「矢部川中流域の自然観察と体験2012」

ちくご子どもキャンパス「矢部川中流域の自然観察と体験2012」



今年も、ちくご子どもキャンパス体験学習プログラム「矢部川中流域の自然観察と体験2012」は、大きな事故もなく、無事終了しました。

このプログラムは、矢部川中流域の自然を観察することから、生命の大切さや人の暮らしを見つめ直すきっかけ作りとすることが主題です。

7月14日の「平成24年7月九州北部豪雨」により、筑後市も200世帯ほどの床上床下浸水被害が生じ、今回のプログラムで入浴利用を予定していた「船小屋恋ぼたる」も床上浸水し、当分の間営業できないような深刻な被害を受けました。また、自然観察を

予定していた「船小屋中ノ島公園」も激流で酷く決り取られ、流木が散乱し、泥土が堆積し、淡水浴が全くできないような大きな被害が生じました。

このような中、まちづくりネットワークちくごでは、「ちくご子どもキャンパス『矢部川中流域の自然観察と体験2012』」を中止するのではなく、当初の募集人数を超える23名の参加者が楽しみにしている体験学習の機会をできる限り提供したいとの思いで当初計画を一部変更して実施しました。

今回のプログラムは、最初に、竹を切って削って、自分たちが使う竹の器とコップと箸を作り、船小屋矢部川堤防付近の様々な生き物の観察、夜のセミの羽化観察や自然体験の思い出を二日目に、今回の豪雨による流木の輪切りや小石に描き、体験学習のまとめとして、「急性骨髄性白血病」を克服された山口絹江さんと骨髄提供経験が二度ある長直樹さんの対談や吉田祥吾さんと大石英雄さんのメッセージソングを聴いていただきました。

普段見ることの出来ない自然の中の小さな命とのふれあいや、セミの羽化に感動し、メンバーと協力してのカレー作りや思い出を描くウッド・ストーン・ペインティング、昼食のそうめん流しといった楽しく、貴重な経験が、今後の子ども達の活動に活かされていくことと思います。

今回は、宿泊研修会場を提供いただいた興満寺様をはじめ、多くの方々のご協力により開催することができました。ご支援いただいた皆様に感謝申し上げます。

これからも、私たち「まちづくりネットワークちくご」は、自然観察会や命の大切さを考える様々な催しを通じて、水と緑と命を大切にする自然豊かな筑後のまちづくりを進めていきます。

ちょっと写真で報告します。



新幹線JR筑後船小屋駅前の からくり時計「つどいの木」の前に集合しました。

早めに来た子は、駅周辺を散策。展示してある船小屋の由来、昔の木製の船の周辺で遊び、会場に移動しました。



今回は、会場がお寺ということで、まずはみんなお手洗いや調理場など場所の確認。



初めて会う友達・スタッフに、みんな緊張の様子でしたが、レクリエーションを通して、だんだんうちとけていきました。🎉



レク・オリエンテーションで仲良くなった子どもたちは4班に分かれ、2日間の食事の際に使う食器として、みんなでのこぎりやサンドペーパーを使って、竹を切って削って、マイ箸とマイ器(竹の器とコップ)を作成しました。なかなかうまく作れませんがみんなで、一生懸命頑張りました。



午後から、船小屋・矢部川沿いの堤防などにいる生き物の観察をしました。



家から持ってきたお弁当を食べ、双眼鏡の使い方などを教えてもらって、自然観察をしました。いろんな虫や鳥や植物を観察し、観察ノートに記録しました。

船小屋では鉱泉場に行って試飲してみました。味はどうだったかな？







お寺に戻って、福岡県赤十字血液センターの方から、
献血の大切さ・命のつながりの話、応急措置の仕方を
聴きました。♡♡



初日の夕食は、カレー班とサラダ班に分かれて、包丁
やピーラーを使って野菜をむいたり、切ったりしながら、
みんなで協力してお料理をしました。屋外では、マッチ
の使い方を教わり、「釜炊き」をみんなで見て木をくべ
たりしました。



カレーの器は、午前中にみんなで作った竹のマイ器。
いつもと違う器と自分達で作ったカレーは、美味しく何
杯もおかわりしました。

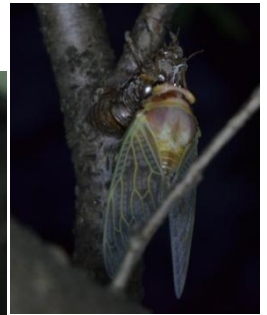


「釜炊き」ならではの、『おこげ』も楽しみました。🎵





夜の観察では、セミの羽化を観ることができました。



眠たい目をこすりながら、みんなでラジオ体操。



二日目の昼は、そうめん流し、オクラも流れて楽しくお腹一杯になりました。



豪雨による流木の輪切りや石に、のりや絵の具を使いながら飾りつけをして台紙に貼りつけて、世界に1つだけのスアート作品を作りました。





班別に、生き物を観察した内容を模造紙にまとめて発表しました。

公園や川で出会った小さな命について、みんなで話し合っ一枚の紙にまとめました。書き出してみると、たくさんの生き物が周りにいることに気づきました。



体験学習のまとめとして、「急性骨髄性白血病」を克服された山口絹江さんと骨髄提供経験が二度ある長直樹さんの対談と大石英雄さんと吉田祥吾さんのメッセージソングを聴きました。



みんなで集合写真...。

みんなで後片付けをしました。

参加したみんなをお見送り…、気をつけて帰ってね。また、参加してね。

子どもたちが帰って、すぐに、真剣に反省会を行って、課題を出し合いました。